

映画「いのちの山河」 フォトコンテスト開催

この映画が上映されてからさらにこの西和賀町を訪れる観光客が増えています。

深澤晟雄の会では映画のロケーション風景の写真やビデオなどを募集しています。「いのちの山河」の映画に関するものであれば何でもかまいません。

応募の中から選ばれた写真などは、パネルにして沢内バーデンなどに展示したいと思います。かさやかではありませんが、応募された方には記念品を贈呈します。一人何点でもかまいませんのでなるべく応募下さい。

※お預かりした写真、ビデオなどはすべてお返しします。

選者 / 写真家 高沢翔さん(舟)
応募先 / 深澤晟雄資料館

西和賀町沢内字太田268

TEL 85 333333

問合せ先 / 深澤晟雄の会事務局

TEL 81 17222

締切日 / 平成22年5月31日

ボランティアガイドの研修で山形へ

酒田市 鶴岡市

3月19日～20日

深澤晟雄の会3名、商工観光課2名、合計5名で山形でボランティアガイドの研修をして来ました。

特に映画「おくりびと」のロケ地の酒田市の旧割烹の建物には去年一年間で12万人も訪れた事を聞き、映画の影響力のすごさを再確認しました。酒田市のボランティアガイドはもともと観光協会に存在していて、仕事を終えた高齢者の方が多いとの事でした。

私達西和賀町のボランティアガイドは今動き始めたばかりですがこのような貴重な体験を基礎とし、皆で力を合わせ「の地に役立つよう少しずつ盛り上げていきたいと思えます。



花巻の三田さんから寄付される

花巻市在住の三田照子さん(92才)から「晟雄の会」に寄付金をいただきました。

三田さんのコメント

「国は国民が主人公、政治家は主人が選んだ番頭さん。国民は番頭が我々の意志にそむいたら何時でも代えらるるのだと自身を持って政治を見ていきたいと思えます。」



三田さんは以前にも寄付していただいております。本当にありがとうございました。

* 深澤晟雄資料館のパンフレットが4月1日より新しくなりました *



実際に村長時代に使っていた執務机



「赤ちゃんは村の宝もの。大事にしないさいよ」との深澤村長の言葉に保健婦たちは日夜を問わず家庭訪問を行った 1968(昭和43年)映画「自分達で生命を守った村」より

「いのちの館」
ふかさわまさお
深澤晟雄資料館

NPO法人 深澤晟雄の会

事務局：〒029-5505
岩手県和賀郡西和賀町湯本30-86-10
TEL 0197-81-1722 FAX 0197-81-1723
ホームページ：www.fukasawa-masao.jp

資料館：〒029-5614
岩手県和賀郡西和賀町沢内字太田2-68
TEL&FAX 0197-85-3838
メールアドレス：masao@nisiwaga.net

資料館だより

深澤村長、信念の人なのだと感じました。(沢内村にいる時も満州にいる時も)

私も何かの縁が「いのちの作法」で西和賀を知り、ここに訪れました。私の中のまだ形にならないうけれど大切な何かが、ここに来て少しずつ現れてきているように感じています。

それが信念に変わっていく、そのきっかけを本当にありがとうございます。

H22・4・21

神奈川県 Tさん

二十代 男性



おこころ

太田祖電氏の原稿 共済新報からの抜粋はお休みさせていただきました。